

(別紙様式2)

### 平成29年度の目標及びその達成に向けた活動の点検・評価

都道府県名： 佐賀県  
農業委員会名： 鹿島市農業委員会

#### I 農業委員会の状況(平成29年4月1日現在)

##### 1 農業の概要

単位:ha

	田	畑	畑			計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	1,350	1,030				2,380
経営耕地面積	1,231	663	104	559		1,894
遊休農地面積	56	564				620
農地台帳面積	1,466	1,879				3,345

- ※1 耕地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入
- ※2 経営耕地面積は、農林業センサスに基づいて記入
- ※3 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

	農家数(戸)
総農家数	1,237
自給的農家数	359
販売農家数	878
主業農家数	275
準主業農家数	172
副業的農家数	431

※ 農林業センサスに基づいて記入。

	農業者数(人)
農業就業者数	1,491
女性	698
40代以下	192

※ 農林業センサスに基づいて記入。

	経営数(経営)
認定農業者	123
基本構想水準到達者	51
認定新規就農者	7
農業参入法人	10
集落営農経営	18
特定農業団体	0
集落営農組織	18

※農業委員会調べ

##### 2 農業委員会の現在の体制

旧制度に基づく農業委員会

任期満了年月日 H 年 月 日

	選挙委員		選任委員				合計
	定数	実数	農協推薦	共済推薦	土地改良推薦	議会推薦	
農業委員数							
認定農業者	—						
女性	—						
40代以下	—						

新制度に基づく農業委員会

任期満了年月日 H 3 1 年 3 月 3 1 日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	10	10
認定農業者	—	6
認定農業者に準ずる者	—	0
女性	—	1
40代以下	—	0
中立委員	—	1

	定数	実数	地区数
農地利用最適化推進委員	21	21	11

\*現在の体制を記載することとし、年度途中で切り替わった場合はいずれも記載

## II 担い手への農地の利用集積・集約化

### 1 現状及び課題

現 状 (平成29年4月現在)	管内の農地面積	これまでの集積面積	集積率
	2,380 ha	1,277ha	53.7%
課 題	平坦部や基盤整備を行った農地は担い手への利用集積が進んでいるが農地は分散している。一方、中山間地の営農条件の悪い農地はなかなか借り手が出てこない。		

※1 管内の農地面積は、活動計画に記載した耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 これまでの集積面積は、活動計画に記載した担い手(認定農業者及び農業委員会法施行規則第10条で定める者)へ利用集積されている農地の総面積を記入

### 2 平成29年度の目標及び実績

集積目標 ①	集積実績 ②	(うち、新規実績)	達成状況(②/①×100)
1,483ha	1,379ha	33ha	93%

※1 集積目標は、活動計画に記載した集積面積を記入

※2 集積実績は、年度末時点で担い手へ利用集積されている農地の総面積を記入

※3 新規実績は、集積実績のうち1年間に新規集積面積(非担い手が自作又は利用していた農地のうち、担い手に対して権利の設定・移転がされた農地)をどの程度増加させたかを記入

### 3 目標の達成に向けた活動

活動計画	農地の流動化を進めるためにJAと連携をとって農地流動化専門員により農地の利用権設定等を推進し、また農地中間管理事業の推進をするために中間管理機構(佐賀県農業公社)や市農林水産課と連携して農地の集積を図る。29年度は新しい農業委員会に移行して2年目であることから農業委員、農地利用最適化推進委員の活動がよりスムーズになるように研修等を行っていく。
活動実績	農地の流動化を進めるために、農地利用最適化推進委員への連絡を密にし利用権設定を推進した。また、農地中間管理事業の利用を推進するためにJAの農地流動化専門員、農地中間管理機構、市農林水産課と連携して農地の集積を図った。更に担い手農家との意見交換会を11月に地域別に開催し問題点及び課題の整理を行った。

※ 活動実績は、目標の達成のために何月に何日何を行ったのか等詳細かつ具体的に記入

### 4 目標及び活動に対する評価

目標に対する評価	農地等の利用の最適化の推進に関する指針より目標を立てていたが目標には及ばなかった。
活動に対する評価	農業委員、農地利用最適化推進委員、農地中間管理機構や市農林水産課と連携し農地中間管理事業を推進し農地利用最適化へ向けて更に活動する必要がある。農業者との意見交換会により地域毎の課題整理が出来た。(総数約50名の出席)

### Ⅲ 新たに農業経営を営もうとする者の参入促進

#### 1 現状及び課題

新規参入の状況	26年度新規参入者数	27年度新規参入者数	28年度新規参入者数
	3 経営体	5 経営体	3 経営体
	26年度新規参入者が取得した農地面積	27年度新規参入者が取得した農地面積	28年度新規参入者が取得した農地面積
	2.4 ha	6.1 ha	3.8 ha
課題	優良農地確保、資金調達、営農技術、相談相手(地域・行政等)等が必要である。		

※1 新規参入者数は、活動計画に記載した過去3年の農地の権利移動を伴う新たな新規参入者数を記入し、法人雇用や親元就農は含まない。

※2 新規参入者が取得した農地面積は、上段で記入した経営体が取得した農地面積の合計を記入

#### 2 平成29年度の目標及び実績

参入目標①	参入実績②	達成状況(②/①×100)
4 経営体	4 経営体	100%
参入目標面積③	参入実績面積④	達成状況(④/③×100)
4 ha	1.9 ha	47.5%

※1 参入目標及び参入目標面積は、活動計画に記載した参入者数及び農地面積を記入

※2 参入実績は、1年間に新たに参入した新規参入者数を記入

※3 参入実績面積は、上記で記入した経営体が取得した農地面積の合計を記入

#### 3 目標の達成に向けた活動

活動計画	市農林水産課、JAと連携し新規就農を検討している方へ農地の賃借等について随時相談を行う。また就農後の相談体制の充実から担当農業委員や農地利用最適化推進委員との連携を図りながらサポートを行う。
活動実績	農業委員や農地利用最適化推進委員へ相談があれば、農地の賃貸借の対応や市農林水産課へ事業等の相談の誘導を行った。

※ 活動実績は、目標の達成のために、何月に何日何を行ったのか等詳細かつ具体的に記入

#### 4 目標及び活動に対する評価

目標に対する評価	参入目標経営体数は達成できたが、参入面積は達成できなかったが、今後の規模拡大等に期待したい。
活動に対する評価	農業委員や農地利用最適化推進委員の地域活動や関係機関連携により活動は順調であった。市担当課と担い手(認定農業者等)の掘り起しが必要。

#### IV 遊休農地に関する措置に関する評価

##### 1 現状及び課題

現 状 (平成29年4月現在)	管内の農地面積(A)	遊休農地面積(B)	割合(B/A×100)
	3,000 ha	619.8 ha	20.7%
課 題	遊休農地は農産物の価格低迷等もあり中山間地の営農条件が悪い地域に発生している。現在平坦部には少ないが、農業従事者の高齢化や担い手不足等で新たな遊休農地の発生が懸念される。(市内全域)		

※1 管内の農地面積は、活動計画に記載した耕地及び作付面積統計における耕地面積と農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した同法第32条第1項第1号の遊休農地の合計面積を記入

※2 遊休農地面積は、活動計画に記載した農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

##### 2 平成29年度の目標及び実績

解消目標①	解消実績②	達成状況(②/①×100)
10 ha	2.9 ha	29%

※1 解消目標は、活動計画に記載した解消面積を記入

※2 解消実績は、当該年度末時点の遊休農地の解消面積を記入

##### 3 2の目標の達成に向けた活動

活動計画	措置の内容	調査員数(実数)	調査実施時期	調査結果取りまとめ時期	
	農地の利用状況調査	31 人	7月～8月	9月～11月	
		調査方法	農業委員、農地利用最適化推進委員、事務局職員による農地の利用状況調査の現地調査を行う。		
	農地の利用意向調査	調査実施時期:11月			
その他の活動	農業者との意見交換会				
活動実績	農地の利用状況調査	調査員数(実数)	調査実施時期	調査結果取りまとめ時期	
		34 人	7月～8月	9月～11月	
	農地の利用意向調査	調査実施時期	10月～11月	調査結果取りまとめ時期	12月～2月
		第32条第1項第1号	第32条第1項第2号	第33条	
		調査数: 1,216 筆	調査数: 0 筆	調査数: 0 筆	
		調査面積: 106.2 ha	調査面積: 0 ha	調査面積: 0 ha	
その他の活動	11月に市内4ヶ所で意見交換会を実施				

##### 4 目標及び活動に対する評価

目標に対する評価	解消目標値10haに対して、解消面積は2.9haであった。
活動に対する評価	農業委員・農地利用最適化推進委員が連携し情報を共有することで担当地区巡回時の意識向上が図られ、遊休農地の発生防止・解消につながってきている。また意見交換会を実施したことで農家及び地域の意識高揚につながった。

## V 違反転用への適正な対応

### 1 現状及び課題

現 状 (平成29年4月現在)	管内の農地面積(A)	違反転用面積(B)
	2,380 ha	0 ha
課 題	農地所有者に農地転用にかかる農地法の手続きの周知の徹底が必要である。	

※ 管内の農地面積は、活動計画に記載した耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※ 違反転用面積は、活動計画に記載した管内で農地法第4条第1項又は第5条第1項の規定等に違反して転用されている農地の総面積を記入

### 2 平成29年度実績

実 績①	増減(B-①)
0 ha	0 ha

※ 実績は、年度末時点の違反転用面積を記入

### 3 活動計画・実績及び評価

活動計画	市報、ホームページ等を利用して農地転用には農地法の許可が必要であることの周知徹底を図る。利用状況調査と合わせて農地パトロールを行い早期発見に努める。
活動実績	違反転用がないように市報や農業委員会広報誌へ転用制度の記事を掲載し制度の周知徹底を図った。農地パトロールにより現状を把握し早期発見が出来るよう努めた。
活動に対する評価	転用制度の周知と農地パトロールにより違反転用を未然に防止したと考えられる。

※ 活動実績は、違反転用の解消や早期発見・未然防止のために何月に何日何を行ったのか等詳細かつ具体的に記入

## VI 農地法等によりその権限に属された事務に関する点検

### 1 農地法第3条に基づく許可事務

(1年間の処理件数: 30 件、うち許可 30 件及び不許可 0 件)

点検項目		具体的な内容			
事実関係の確認	実施状況	申請者からの聴取、土地の登記事項証明書、農地基本台帳の確認及び現地調査による申請農地に係る耕作実現性の有無を確認			
	是正措置	—			
総会等での審議	実施状況	申請案件毎に申請内容と許可基準を明示し個別審査を行っている。			
	是正措置	—			
申請者への審議結果の通知	実施状況	申請者へ総会等での指摘や許可条件等を説明した件数	30 件		
		不許可処分の理由の詳細を説明した件数	0 件		
	是正措置	—			
審議結果等の公表	実施状況	議事録作成後閲覧			
	是正措置	—			
処理期間	実施状況	標準処理期間	申請書受理から 30 日	処理期間(平均)	19 日
	是正措置	—			

### 2 農地転用に関する事務（意見を付して知事への送付）

(1年間の処理件数: 53 件)

点検項目		具体的な内容			
事実関係の確認	実施状況	土地の登記事項証明書、申請書類等の確認、農業委員との現地調査による立地基準の適合性、申請面積の必要性の確認、都市計画法等関係法令に係る許可手続きの必要性、手続きの進捗を確認			
	是正措置	—			
総会等での審議	実施状況	個別審査を行い農地区分による法令基準への適合性の説明及び転用に関する周辺農地への影響を説明後、農業委員による事業内容についての質疑応答			
	是正措置	—			
審議結果等の公表	実施状況	議事録作成後閲覧			
	是正措置	—			
処理期間	実施状況	標準処理期間	申請書受理から 30 日	処理期間(平均)	18 日
	是正措置	—			

### 3 農地所有適格法人からの報告への対応

点検項目	実施状況		
農地所有適格法人からの報告について	管内の農地所有適格法人数		5 法人
	うち報告書提出農地所有適格法人数		5 法人
	うち報告書の督促を行った農地所有適格法人数		0 法人
	うち督促後に報告書を提出した農地所有適格法人数		0 法人
	うち報告書を提出しなかった農地所有適格法人		0 法人
	提出しなかった理由	—	
	対応方針	—	
農地所有適格法人の状況について	農地所有適格法人の要件を欠くおそれがあるため農業委員会が必要な措置をとるべきことを勧告した農地所有適格法人数		0 法人
	対応状況	—	

### 4 情報の提供等

点検項目	具体的な内容	
賃借料情報の調査・提供	実施状況	調査対象賃貸借件数 532 件 公表時期 平成 30 年 4 月 情報の提供方法：市のホームページ、のうちかしま(農業委員会だより)への掲載
	是正措置	—
農地の権利移動等の状況把握	実施状況	調査対象権利移動等件数 505 件 取りまとめ時期 平成 30 年 3 月 情報の提供方法：農業委員会内で内部資料として活用している
	是正措置	—
農地台帳の整備	実施状況	整備対象農地面積 3,345 ha
		データ更新：随時更新をしている。また固定資産台帳や住民基本台帳の基本データ更新を年1回行っている
	公表：窓口対応時に相談者へ必要な事項を提示している	
是正措置	—	

#### ※その他の事務

上記ⅡからⅥに掲げる事務以外の事務について、次年度の目標及びその達成に向けた活動計画を作成する場合には、それぞれの事務ごとに、上記様式に準じて取りまとめること。

## VII 地域農業者等からの主な要望・意見及び対処内容

農地利用最適化等に関する事務	〈要望・意見〉 特になし 〈対処内容〉
農地法等によりその権限に属された事務	〈要望・意見〉 特になし 〈対処内容〉

※ II～VIの事務について、活動を通じて地域の農業者等から寄せられた主な意見及び対処方針について記載

## VIII 事務の実施状況の公表等

### 1 総会等の議事録の公表

HPに公表している

その他の方法で公表している

### 2 農地等利用最適化推進施策の改善についての意見の提出

意見の提出件数          1   件

提出先及び提出した意見の概要	1. 農業振興策について 2. 経営所得安定対策について 3. 担い手の育成・確保について 4. 有害鳥獣等被害防止対策について 5. 農業生産基盤の整備と保全について 6. 農業委員会事務局の体制整備について
----------------	--

### 3 活動計画の点検・評価の公表

HPに公表している

その他の方法で公表している